住宅審議会の答申フレーム（案）

現状と課題（資料３）

（１）少子高齢化の進行と中堅層の市外転出
- 人口の都心回帰
- 少子高齢化の一層の進行
- 人口減少社会の到来
- 中堅層の市外転出傾向

（２）一層の改善・向上が求められる住宅ストック
- 改善が必要な住宅ストックの存在
- 新設住宅の小規模化と供給戸数の減少
- 活性化が求められる中古住宅流通
- 市営住宅ストックと管理の状況

（３）潜在する多彩なまちの魅力
- 数多く存在する地域資源
- 住宅や住環境に対する評価
- 市民のまちづくりへの高い参加意向

（４）まちに求められる安全性の確保
- 大規模地震による甚大な被害想定
- 広範囲に分布する密集住宅市街地
- 多発する街頭犯罪
- 安全・安心に関わる住情報ニーズの高まり

（５）地球温暖化等の環境問題の深刻化
- 地球温暖化の進行
- 増加する温室効果ガス排出量
- ヒートアイランド現象の深刻化
- 依然として少ない市内の緑地

（６）住宅政策にかかる国の動向と経済情勢の変化
- 住宅ストックの有効活用や住宅の長寿命化への動き
- 居住の安定確保に向けた動き
- 建築物に対する安全・安心確保に向けた動き
- 都市再生機構、住宅金融支援機構の独立行政法人化に伴う役割の転換
- 世界同時の急激な経済情勢の変化

基本目標（資料９）

今後の施策の方向性（資料４）

安全・安心を支える住まい・まちづくり
- 居住安定の確保、居住水準の向上
- 密集住宅市街地の整備
- 建築物の耐震化
- 防犯性の向上　など

まちの魅力をひきだす住まい・まちづくり
- 地域資源を活かした魅力あるまちづくり
- 居住文化の継承・発展
- 住情報・魅力情報の発信　　など

都市の活力を高める住まい・まちづくり
- 中堅層の市内居住の促進
- 多様なライフスタイルや価値観にあわせた住宅ストックの形成
- 市営住宅資産を活用したまちづくり　など

環境と調和する住まい・まちづくり
- 環境に配慮した住宅の整備促進・普及啓発
- ストックの有効活用
- 住宅・建築物の長期利用
- 既存住宅流通の円滑化　　など

施策展開にあたっての視点（資料５）

市民との協働
- 市民との協働によるまちづくり
- ＮＰＯ等との連携による施策展開
- 市民と行政のプラットフォームづくり
- 様々な市民活動のサポート

ストックの有効活用
- 成熟社会の都市活動を支える重要な資産である、人、もの、ネットワーク等の都市居住にかかるストックの有効活用

多彩な情報の発信・交流
- 市民と行政の双方向の情報ネットワークの構築
- 「情報の発信」を重要なツールと位置づけた施策展開

様々な分野との連携・協力
- 福祉、子育て、教育、環境、観光分野等との連携、協力
- 区役所との連携、協力

先導性の発揮
- 持続可能な都市への発展のモデルとなる先導的な施策の実施

今後取り組むべき主要な施策（資料８）

（１）魅力あるまちづくりと居住文化の継承
① 住宅・建築物の修景等によるまちなみの整備
② まちづくり活動の活性化と自立的・継続的な取り組みへの支援
③ 居住地魅力情報の発信

（２）安全・安心な住まい・まちづくり
① 密集住宅市街地等における住環境の整備
② 建築物の耐震化の促進
③ 地域の防犯・防災性の向上

（３）環境に配慮した住まい・まちづくり
① 省エネルギー・省 CO_2 型住宅の整備促進
② 住宅におけるヒートアイランド対策の誘導
③ 自然と調和する都市空間の創出

（４）住宅ストックの再生・有効活用
① 住宅の長寿命化
② 既存住宅の流通支援
③ 分譲マンションの適正な維持管理・円滑な建替えの支援
④ 市営住宅ストックの有効活用と地域まちづくりへの貢献

（５）幅広い都市居住ニーズへの対応
① 新婚・子育て世帯の市内居住の促進
② 良質な都市型住宅の供給促進
③ 外国人の居住ニーズへの対応

（６）より確かな居住安定に向けた取り組みの強化
① 高齢者・障害者等の入居支援
② 市営住宅の公平・公正な入居管理の実施
③ 住宅のバリアフリー化の促進

（７）総合的な住情報機能の充実
① 多様化・高度化するニーズに応える住情報の提供・相談体制の強化
② 大阪の多様な魅力の情報発信
③ 住まい・まちづくり学習機能の充実